

SD330

取扱説明書

このたびはダイヤモンドアンテナをお買い求めいただきまして誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また必要なときに読めるようにこの取扱説明書は、大切に保管してください。

このアンテナはアマチュア無線用です。指定された周波数以外では送信しないでください。

⚠ 注意

事故を防ぐために、以下の注意事項をお守りください。

- ①ネジ・ビス類は、振動などでゆるむことがあります。お使いになる前に確認し、ゆるんでいるようなら締めなおしてください。
- ②強い衝撃を受けると破損したアンテナが落下して大変危険です。走行のときは、枝などの障害物に充分注意してください。
- ③ディーゼル車などの激しい振動により、アンテナが破損することがあります。できるだけ振動の少ないところを選んでアンテナを取り付けてください。
- ④送信中のアンテナに触ると感電することがあります。停車中に運用するときは、アンテナの近くに人がいないことを確認してください。
- ⑤アンテナ基台は、大きく強度の高いものを使用し、車体のしっかりとした位置へ垂直に固定してください。
- ⑥車の幅・全長を越えない、人体に触れにくいところに取り付けてください。
- ⑦運用する前にアンテナが正しく動作していることを確認してください。無線機が故障する原因となります。
- ⑧雷が鳴り出したら、アンテナや同軸ケーブルには絶対手を触れないでください。感電の原因となります。
- ⑨運転の支障にならないように、同軸ケーブルを配線してください。
- ⑩アンテナや基台、同軸ケーブルを車の他の配線や端子ボックスの近くに取り付けしないでください。接触して、火災・感電の原因となります。
- ⑪走行中の調整動作は危険です。絶対行わないでください。

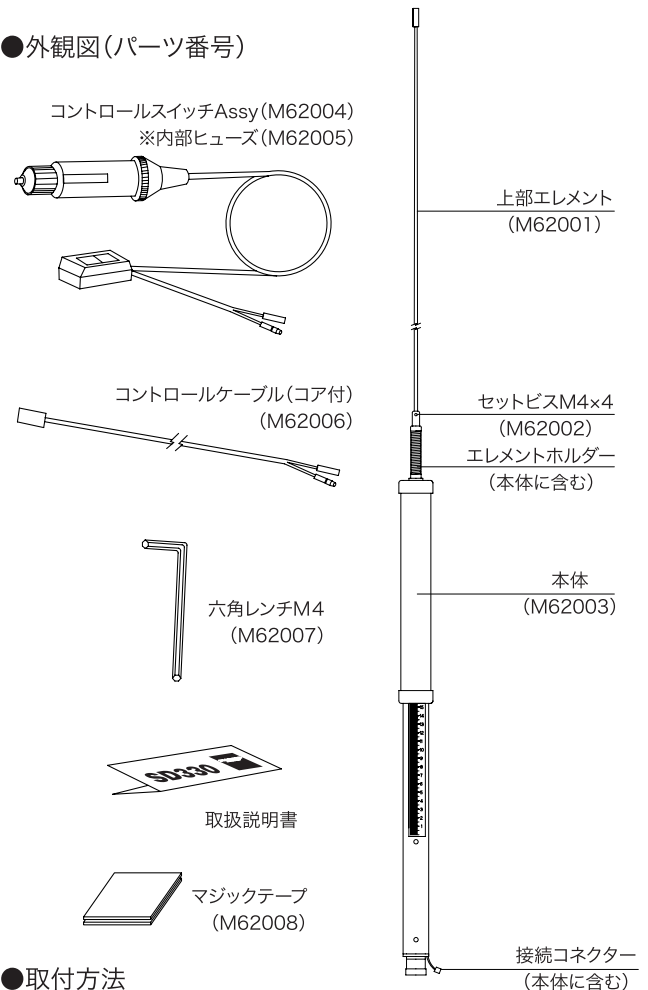
⚠ 異常があればただちに発射を中止

VSWRが高いまま送信し続けるとトランシーバーなどの機器を破損するおそれがあります。ただちに電波の発射をやめ、販売店または弊社までご相談ください。

●特長

- ①SD330は、車内のリモコン操作により、コイル部を可変して広帯域で運用できるモバイルアンテナです。
- ②3.5～30MHzまでの周波数変更動作時間は、約50秒です。又、7～30MHz間の変更であれば、わずか20秒で変化します。
- ③200W(SSB)以下のHF帯無線機であれば、全て対応可能です。
- ④電源は車内のシガープラグより、簡単に取ることができます。
- ⑤無線機内蔵のアンテナチューナーを併用することで、広帯域な運用ができます。

●外観図(パーツ番号)

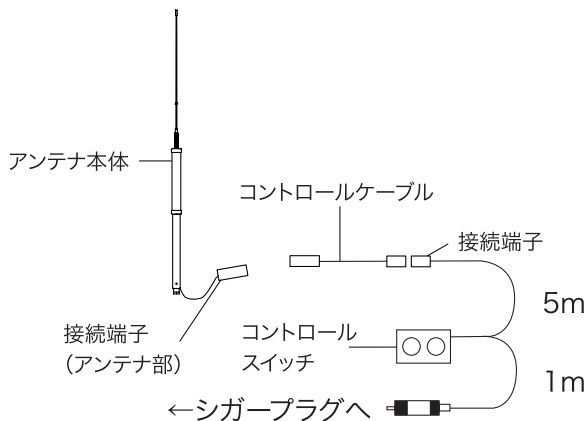


●取付方法

SD330は車のボディをアースとして使用していますので、車のボディと基台が完全に導通していないとVSWRが下がらない場合がありますので、基台とボディの導通を確認のうえ、アンテナを取り付けてください。他のアンテナの近くや車のバンパーに直接取り付けた場合にはVSWRが下がらない場合がありますのでご注意ください。また、SD330はとても重く、長いアンテナです。車への取付は、十分に強度のある場所を選んで取付けてください。ボディアースが取りにくい場合は、別売のアースシート(MAT50)を併用することで、取れやすくなります。

●電源コード配線

- ①アンテナ本体を取付後、アンテナから出ている接続コネクタに、コントロールケーブルを接続します。
車内にコントロールケーブルを配線し、コントロールスイッチから出ている接続端子に接続してください。
- ②シガープラグを差し込み、コントロールスイッチが運転の妨げにならない位置に、付属のマジックテープを使用して固定してください。



注意

電源コードは両方ともプラスの電圧がかかります。配線のときには電源コードに無理な力が加わったり、挟まれて被膜が破れるとショートしてヒューズが破損することがあります。シガープラグ以外から電源供給をされる場合、極性を正しく接続してください。逆に接続されますと、動作不良の原因となります。

●調整方法

- 1, 無線機とアンテナの間にSWR計(HF帯用)を挿入してください。
- 2, 周囲に障害物などない安全な場所に、車を停車させてください。

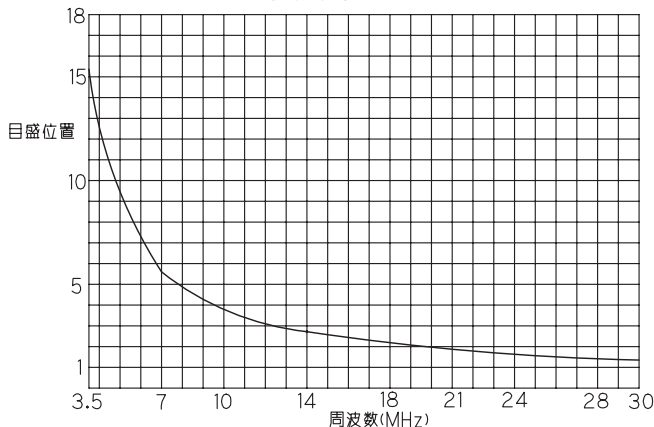


注意

走行中の調整動作は危険です。行わないでください。

- 3, 運用される周波数に無線機を合わせ、CW又はFMモード、電力10W以下にセットしてください。
- 4, 初めはコイル部分がどの位置で、同調が取れるか判らない状態になっておりますので、下表を参考にあらかじめ、同調させる周波数帯のコイル位置に、コントロールスイッチにて移動させておいてください。

同調位置目安表



※目安の数値です。アンテナ取付条件で変化します。微調整が必要となります。

- 5, 無線機を送信状態にして、SWR計のSWR値が最小になる様にコントロールスイッチの「UP」「DOWN」ボタン操作にて調整してください。「UP」で周波数が低く、「DOWN」で周波数が高く変化します。

※コイルの上下最大位置は、アンテナ本体にある、位置スケール目盛で最小「1」付近、最大「18」付近です。

最大、最小点を越えた状態で、クラッチおよびリミットスイッチが動作し動かなくなりますが、最小、最大点を越えたら、スイッチを押し続けられないようにしてください。

- 6, 同調が取れましたら運用可能です。
無線機内蔵などのアンテナチューナーを併用することで、SWRの良好な帯域を広く取れますので、併用をお奨めいたします。

●送信空中線の型式

アマチュア局の免許申請書類の空中線型式には、「単一型」とご記入ください。

●規格

周波数: 3.5~30MHz

インピーダンス: 50Ω

V S W R: 2.0以下(共振周波数にて)

耐入力: 200W SSB

全長: 約1.85m最大(3.5MHz同調時)

重量: 約1.1Kg

接栓: M形

形式: 1/4λ短縮型

電源電圧電流: DC12V 100mA

可動時間: 約50秒(3.5→30MHz移動時)

約20秒(7→30MHz移動時)

■お買い上げいただいた製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら、取扱店にお申し付けください。

■このアンテナの仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2010年 9月 初版発行